

361) 空缶人生

喉が渇いて 80 円の コーラを飲んでふと考えた
この大都会 俺を知るもの 何人いるか数えてみたかと
どこから見ても変哲もない そうかといって才能もない
俺の人生いま気がつくと まるでコーラの空缶みたい

俺の人生 空缶人生 ポイ投げされた空缶みたい
拾ってくれる好き者なんて 待っていたって来るわけではない
それでも俺は生きているから 今の気持ちをカンカラ歌うよ
街のかたすみ投げ捨てられた まるでコーラの空缶みたいに

俺の人生 空缶人生 蹴られ踏まれて迷惑がられ
そんな俺でも女を愛し 涙を流し呼吸いきをするのさ
このうらぶれた街に暮らして 精一杯に生きているから
投げ捨てられた空缶みたいに カンカラ歌うよ俺の人生

俺の人生 空缶人生 だから歌おう空缶の歌
俺は歌うぞ俺の言葉で 自分自身を語り尽くすぞ
黙ってたんじゃ明日はないから 5 線紙のうえカンカラ歌うよ
投げ捨てられて空缶人生 あきらめるにはまだ早すぎる

俺の人生 空缶人生 ポイ投げされた空缶みたい
だから歌おう俺の人生 あきらめるにはまだまだ早い